

あの頃は・・・

今から15年前の中学部 過酷だけど思い出深い遠足

教諭 伊藤 里恵

当校在職期間 平成19年4月～現在

4月の恒例行事、中学部の春の遠足。毎年、養老こどもの国・養老の滝に出かけています。

現在は、スクールバスで子どもの国まで移動してから、養老の滝まで登っていますが、昔は、なんと学校からこどもの国まで約8kmの道のりを歩いていました！ 歩いても歩いても田んぼばかりでなかなか景色が変わらない道、あと少しとゴールが見えてきたところでの長い坂道… なかなかハードな道のりです。力尽きて道端に座り込む生徒と、養老鉄道を何本も眺めて気分転換をしたこともありました。半日かけてこどもの国にたどり着く頃には、みんなへとへとでしたが、一緒に長い道のりを歩いてきた仲間という意識が生まれ、クラスの仲がぐっと深まる行事でした。

今年度も、中学部のみんなまで遠足に行きました。歩く距離は、15年前に比べたら短くなりましたが、坂道を登り続けて養老の滝にたどり着くと達成感があり、今年度も新しい学年になって初めての思い出となったと思います。



令和4年度の様子